



1:1 テオフィロ様。私は前の書で、イエスが
行い始め、また教え始められたすべての
ことについて書き記しました。

1:2 それは、お選びになった使徒たちに聖
霊によって命じた後、天に上げられた日ま
でのことでした。

1:3 イエスは苦しみを受けた後、数多くの
確かな証拠をもって、ご自分が生きてい
ることを使徒たちに示された。四十日に
わたって彼らに現れ、神の国のことを語
られた。

1:4 使徒たちと一緒にいるとき、イエ
スは彼らにこう命じられた。「エルサレ
ムを離れないで、わたしから聞いた父
の約束を待ちなさい。」

1:5 ヨハネは水でバプテスマを授けま
したが、あなたがたは間もなく、聖霊
によるバプテスマを受けられるから
です。」

1:6 そこで使徒たちは、一緒に集ま
ったとき、イエスに尋ねた。「主よ。
イスラエルのために国を再興してくだ
さるのは、この時なのですか。」

1:7 イエスは彼らに言われた。「いつ
とか、どんな時とかいうことは、あな
たがたの知るところではありません。
それは、父がご自分の權威をもって
定めておられることです。」

1:8 しかし、聖霊があなたがたの上
に臨むとき、あなたがたは力を受けま
す。そして、エルサレム、ユダヤとサ
マリアの全土、さらに地の果てまで、
わたしの証人となります。」

1:9 こう言ってから、イエスは使徒
たちが見ている間に上げられた。そし
て雲がイエスを包み、彼らの目には
見えなくなった。

1:10 イエスが上って行かれるとき、
使徒たち

は天を見つめていた。すると見よ、白
い衣を着た二人の人が、彼らのそば
に立っていた。

1:11 そしてこう言った。「ガリラヤ
の人たち、どうして天を見上げて立
っているのですか。あなたがたを離
れて天に上げられたこのイエスは、
天に上って行くのをあなたがたが
見たのと同じ有様で、またおいでに
なります。」

「前の書」とはルカによる福音書です。
ルカはイエス様の生涯、特に宣教と
十字架と復活を書きましたが、さら
に必要を感じて（聖霊に導かれて）、
そのイエス様のみわざがどのように
広がって行ったのかを書きました。

弟子たちはまだ「イスラエルのため
に…」と、十字架はユダヤ人の救い
のためと思いついてしまいましたが、
イエス様は「…地の果てにまで」と
言われました。つまり十字架の救い
が全人類のためであることを表して
おられます。

神様の救いのご計画、また救いの
愛は壮大なものです。1つの民族に
限定されるものではなく、また1
つの時代で終わってしまうような
ものではありません。

アダムとエバが罪を犯したとき
すでに救いの約束を与えてくださ
り、そして最終的には「またおい
でになります」と、終末の再臨ま
で見通しておられるのです。弟子
たちはそのような文脈の中で、十
字架について、救いについて、そ
して全世界への宣教について理
解していきました。それらはす
べて聖霊によるものです。

聖霊により悟り、聖霊により力
が与えられて地の果てにまで出
ていった結果が、今の私たちの
救いです。私たちが聖霊を受け
て、日々世界に出てゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなた
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

